

# 平成 25 年度 第 1 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 25 年 8 月 19 日 (月) 13:30 ~ 15:35

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 7 名

鈴木直会長 小杉副会長 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員  
石川委員

出席職員 教育委員会事務局職員 5 名

鈴木事務局長 山崎課長 佐藤館長 山室副主任 名倉囑託

傍聴人 なし

議事 1. 報告事項

(1) 非現用公文書等の移管選別状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**ホームページに「れきしぶんしょかん」とフリガナがふってある。**

(回 答) 確認して修正したい。

確認したところ、市が関与しない電話帳やスポット情報など、外部のホームページであった。

(2) 平成 25 年度前期 (第 11 回) 企画展について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**展示室を、竜洋町時代の議場に変更できないか。**

(回 答) 計画段階において、検討を行った結果、元議場の空調設備費や改修工事費がかなりかかることがわかり、利用者利便を考えると、現在の場所が最適だと決定した。

(3) レファレンス利用状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**レファレンス対応が遅いときがあった。対応の改善をお願いしたい。**

(回 答) すぐに回答できない場合があり、そのときは、その日のうちに利用者へ連絡するようにしている。その対応が悪かったことは反省し、再度資料整理の状況を確認したい。

**資料の所蔵を、収集したときの担当者だけが知っているというのは、問題ではないか。担当者は変わっていくので、その後、ある資料についてのレファレンスの場合、「わかりません」ではサービス低下になってしまうのではないか。**

(回 答) 歴史文書館には図書館システムのようなものはなく、エクセルでの自館登録である。開館当初は目録作成しないと資料が把握できなかった状況であったので、職員の能力に頼るレファレンス方法が現在まで続いているのが実情である。今、横断検索に変更しようとして取り組みを始めている。今後、情報システム課と相談しながら進めていきたいと思っている。

閉架などに収蔵されている資料を検索したい場合は、インターネットでは検索できないのか。

(回答) 来館し、目録を端末で確認していただいている。

閉架にある、主なものは何巻そろっているなどを壁に貼り出してもらえなどすれば便利ではないか。

(回答) 当初は、種類別に紙ベースで出していたが、登録数が多く、日々更新されるので、パソコンで確認するのがよいのではと考え、現在は行っていない。しかし、登録から経年したものは印刷し、最新登録資料はパソコンで検索する方法を考えたい。

(4)地域資料の受入れ整理状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし

(5)古文書解読講座について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

歴史文書館が「これは初心者向けの資料」と選んだ資料が、受講者側に立ってみると、難しく、もう少し考えるべきではないか。

(回答) 資料は受講者に立って選んだが、「わかりやすいものを」という声があったのは事実なので、初級はできるだけ平易なものにするという考えで対応していかなければと反省した。

講師は誰が務めたのか。

(回答) 歴史文書館職員の徳橋である。文書の解読を担当しており、資料の把握もしているため。

個々により、「わからない」度合いが異なるので、苦勞があったのではないか。

(回答) 受講希望者が多く、申込を断るほどだった。来年度の事業にこの反省を生かしていきたい。

(6)福田町史編さん事業について (事業の進捗状況 福田町史展 福田町史編さん事業講演会)

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

福田町以外のところでも福田町関係のものがある。今度の通史に採録していただけないか。

(回答) 関係資料については、専門委員に提案をし、相談をしていきたい。掲載については、専門委員の判断になると思う。

旧福田町史編さんを行っていくにあたり、講演会等の事業を旧福田町内で行うことは公平性にかけるのではないかと感じる。中央部でやることなど考えたらどうか。

(回答) 今後は、広くピーアールすることを考えて、市の中央部での事業開催を考えていきたい。

市北部の在住者は、参加を迷うと思う。大勢の人に話を聞いてもらえる機会を作ってほしい。

今後発見されたものは、磐田市史などに追加して発行したらいい。

## 2. 協議事項

- (1)企画展について(平成25年度後期(第12回)企画展  
平成26年度前期(第13回)企画展)

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**主な展示物と見付学校の常設展との違いは。**

- (回答) 合併前に収集したもの、町史編さんで収集したものなど、見付学校と比べて展示していきたい。

**平成22年度に候補にあがった、今後の企画展案は消えてしまったのか。**

- (回答) 職員が展示について、検討した結果、「松岡霊社」の展示を急遽入れた。以前、候補にあがった案はなくなったわけではない。

**資料を収集する努力をしない限り、資料は集まらない。**

- (回答) 市民の皆さんに喜んでもらえる展示を今後も努力したい。

**展示方法の工夫をしないと、おもしろみがない展示になる。**

- (回答) わかりやすい展示を心がけていきたい。

**できるだけ磐田に関する展示をお願いしたい。**

- (回答) 取り組み状況を入れるようにしたい。

- (2)歴史文書館要覧について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**事実の羅列ではなく、これから何をやるのかを書き込んだらどうか。**

- (回答) 今まで、このようなものを発行していなかったため、事業の記録がない。今回の要覧は、当初の計画がどのように進んだかを示しているものである。今後の計画掲載も考えた。先進館に聞くと、事業計画を作成している館は確認できない。今後、必要となった場合、内容の検討が必要になると考える。審議会に諮った上で、公表するため、今回の要覧への記載は想定していない。

**歴史文書館のスペースをわかりやすくしてほしい。**

**要望書の提出時期の平成15年は、磐南文化協会豊岡支部は存在しないと思う。**

- (回答) スペースはわかりやすくなるように修正する。  
事実関係を確認する。

- (3)資料等扱いの基準について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

**写真撮影について、問題があるのか。**

- (回答) 資料の写真撮影を認めると、際限なく資料が出回ることになる。開館当初は、元の所有者との信頼が得られなくなってしまうと考えたので、断ってきた。

**歴史文書館の資料を利用して掲載されたことはあるか。**

(回 答) 掲載の場合、掲載申請をしており、無断で掲載されたことは確認していない。  
**本等に掲載のため、他市町村に資料送付の依頼をすると、寄贈をお願いされるが、同様にしたらどうか。**

(回 答) 同様にしているが、確実にお願いをしていくことで、写真撮影による資料提供を認めていきたい。

### 3. その他

#### (1)委員の任期について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし

#### (2)その他

〔委員からの意見〕

**津波の時、ここは大丈夫か。**

大丈夫である。150号線までだと言われている。大切な資料は、埋蔵文化財センターに置きたい。

**海岸線2キロ以上であれば、大丈夫と聞いている。**

(回 答) 例え防潮堤を越えるような津波であったとしても、東日本大震災と、この辺りに予想されている巨大地震とでは、震源域の状況や内陸部の地理的状況も違うことから、この建物の位置であれば大丈夫であると考えている。

**文書館自体を移したらどうか。重要なものだけ移すのは業務ができない。ここに置くしかない。**

**ここは避難所になっているか。**

(回 答) 避難所ではなく、緊急的に避難される方の場所である。

**海拔何メートルか。**

(回 答) 海拔14メートルである。津波などで資料が紛失しても、資料のデータ化を進めているので、情報が残っていく。

**県内文書館関係では、県の歴史文化情報センターとここだけであり、関係者としてはうれしく思う。**

**文書館のホームページの充実をお願いしたい。**

(回 答) インターネットでの資料公開と合わせての検討課題である。